

『最近の白内障手術』

超高齢社会と呼ばれる今日では、日々の眼科診療において最もありふれた疾患の1つに白内障が挙げられます。白内障とは主に加齢によって水晶体が混濁する病気ですが、ほかの原因として糖尿病やステロイド内服などがあり、これが原因の場合は若年の方にも白

内障がみられることがあります。白内障になると、一般的にはまぶしく感じたり、物がかすんで見えにくくなり、徐々に視力が低下しますが、患者様によって混濁の程度も様々ですので、症状は多種多様です。

白内障はすぐ手術をしないとだ

め、と思われる方が多いですが、白内障は特殊なものを除き、すぐに手術が必要な病気ではありません。日常生活で感じる不自由の程度によって手術時期を決めます。

最近の白内障手術機器の進歩は著しく、数mmの傷口での白内障手術が可能になりました。そのため、入院期間も短縮され、日帰り手術も可能になりました。(なお、当院では全身疾患をお持ちの方が多いため、皆様入院の上で手術を行っております。)術後に挿入する眼内レンズも多様化し、術後の患者様のQOL(生活の質)の向

上に寄与しています。その代表的なレンズとして、トーリックレンズという乱視矯正レンズがあります。元来の白内障手術では乱視は矯正できないため、乱視の強い患者様は術後の眼鏡装用が必要でしたが、トーリックレンズを使用することにより乱視を矯正もしくは軽減することが可能になりました。また、白内障手術時に強い近視の度数を軽減するということも可能です。ただし、乱視や近視の具合、病状により使用できないケースもありますので、主治医の先生とよく相談することが必要です。



函館中央病院

宇野 友絵 眼科医員

平成19年、昭和大学医学部医学科卒業。北海道がんセンター研修医、北海道大学病院研修医、同大学眼科勤務、滝川市立病院眼科勤務を経て、平成23年4月から函館中央病院眼科医員として勤務する。



函館中央病院

函館市本町33-2
☎0138-52-1231(代)
<http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科・消化器内科・循環器内科
眼科、小児科、外科、整形外科
形成外科、脳神経外科など
全17科目

受付時間／9:00～11:30・14:00～16:00

※土曜は午前のみ。
科や時間帯によっては要予約。

休診日／日曜・祝日